

平成30年度 社会福祉法人東御市社会福祉協議会事業報告

「住民主役の支えあいのまちづくり ～安心して暮らせる地域を育むために～」の基本理念のもと、地域共生社会の実現をめざし、「まいさぼ東御」を中心に、総合相談の窓口として生活や就労に困っている市民に向き合い、寄り添いながら自立した生活が送れるよう支援しました。

また、住みなれた地域で安心して暮らしていかれるよう、各種団体等と連携協働し、行政とパートナーシップをはかりながら『住民主役の支えあいのまちづくり』を進めるため、地域での支えあいの福祉活動の推進に取り組みました。

平成30年4月から平成31年3月までの主な事業は、次のとおりです。

I. 組織運営の強化・人材育成

1. 法人組織の運営・体制の強化

(1) 理事会 (4回)

回数・開催日	人数	上 程 議 案
第72回 30.6.1 (金)	11人	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員候補者の推薦について ・平成29年度事業報告及び一般会計決算について ・評議員会の議題について
第73回 30.6.15 (金)	11人	<ul style="list-style-type: none"> ・常務理事の選定について
第74回 30.12.6 (木)	10人	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度前期事業の概要並びに一般会計中間決算の状況について ・平成30年度一般会計補正予算(第1号)について ・評議員選任・解任委員会運営規程一部を改正する規程について ・評議員会の開催及び議題について ・平成31年度事業計画について
第75回 31.3.19 (火)	11人	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度一般会計補正予算(第2号)について ・平成31年度事業計画及び一般会計予算について ・定款細則の一部を改正する規則について ・東御市社会福祉協議会組織規程について ・評議員選任・解任委員会委員の選任について ・評議員候補者の推薦について ・評議員会の開催及び議題について

(2) 評議員会 (4回)

回数・開催日	人数	上 程 議 案
第38回 30.6.15 (金)	19人	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度事業報告及び一般会計決算について ・理事の選任について
第39回 30.12.19 (水)	18人	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度一般会計補正予算(第1号)について ・理事及び監事の選任について
第40回 31.2.28 (木)	22人	<ul style="list-style-type: none"> ・理事の選任について

第 41 回 31. 3. 27 (水)	15 人	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度一般会計補正予算 (第 2 号) について ・平成 31 年度事業計画及び一般会計予算について ・東御市社会福祉協議会定款細則の一部を改正する規則 ・理事の選任について
-------------------------	------	--

(3) 監 査

○税理士による事前監査

平成 30 年 5 月 14 日 (月)

平成 30 年 11 月 6 日 (火)

○監事による監査

決算監査 平成 30 年 5 月 18 日 (金) 中間監査 平成 30 年 11 月 14 日 (水)

(4) 支部長会

- ・期 日 平成 30 年 7 月 10 日 (火)
- ・会 場 総合福祉センター 講堂
- ・参加者 58 人
- ・内 容 ① 平成 30 年度 社会福祉協議会の会費募集について
② 平成 30 年度 赤い羽根共同募金の取り組みについて

(5) 法人内の連携

- ・各種プロジェクト (広報・福利厚生) の設置・推進
- ・グループウェアの導入で、情報共有をはかる
- ・第 2 期社協発展・強化計画の策定及び推進

(6) 情報共有会議の開催

<全体会> 全 4 回

- 平成 30 年 4 月 26 日 (木) 事業計画・予算説明、プロジェクト等
- 平成 30 年 6 月 29 日 (金) 第 1 期発展強化計画報告、県社協講義
- 平成 30 年 11 月 1 日 (木) 第 2 期発展強化計画説明、ワーク
- 平成 31 年 1 月 29 日 (火) 地域福祉活動計画説明、ワーク

<部会> 全 11 回

- 内容：発展強化計画、事例検討、事業課題と情報の共有
- 平成 30 年 4 月 23 日 (月)、5 月 21 日 (月)、6 月 25 日 (月)、7 月 23 日 (月)、
8 月 20 日 (月)、10 月 15 日 (月)、11 月 12 日 (月)、12 月 26 日 (水)、
平成 31 年 1 月 21 日 (水)、2 月 18 日 (月)、3 月 18 日 (月)

2. 自主財源の確保

(1) 社会福祉協議会への寄付

ア. 金銭の寄付

個人 8 人	7 団体	総額 1,129,500 円
--------	------	----------------

イ. ウェス

個人 14 人	5 団体	合計 24 件
---------	------	---------

ウ. 物品の寄付

24人	5団体
-----	-----

介護用品		一般物品	食料品
介護ベット 3台	紙おむつ	タオル	米
ポータブルトイレ 11台	尿取りパット	寝具類	もち米
車椅子 7台	リハビリパンツ	下着・寝間着類	アルファ米
シルバーカー 2台	古タオル	雑貨類	
介護用品		座布団	

(2) 社協会員の加入状況と会費の収納

年度	会員区分	一般会員	賛助会員	法人会員	合計
30年実績	人数	6,117人	873人	168法人	
	金額	6,116,500円	1,748,000円	1,585,000円	9,449,500円
29年実績	人数	6,163人	897人	164法人	
	金額	6,158,300円	1,796,000円	1,515,000円	9,469,300円

3. 研修事業・人材育成

(1) 役員研修

① 長野県社会福祉大会

- ・期 日 平成30年9月12日(水)
- ・場 所 塩尻市文化会館レザンホール 参加者 約 15人
- ・式典、表彰 表彰者 4名
- ・トークセッション
 テーマ「地域づくりを“我が事”に～住民リーダー&コーディネーター大集合～!!」
 ○コーディネーター 阿部 陽一郎 氏(中央共同募金会 事務局長)
 ○コメンテーター 河田 圭子氏(支え合いのしくみづくりアドバイザー)
 ○事例発表

「塩尻市木曾平沢宮下町会 “お助け隊”
 地域づくりリーダー&地域福祉コーディネーター
 「南箕輪村生活支援体制整備事業と地域の取り組み」
 支え合い実践者&地域包括支援センター職員
 「住み続けられる遠山をめざそう！」
 住民活動リーダー&市の自治振興センター職員

② 社会福祉トップセミナー

- ・期 日 平成30年9月5日(火)
- ・場 所 岡谷市文化会館(カノラホール) 4人出席
- ・実践報告

社会福祉法人経営者協議会「あんしんセーフティネット」

社会福祉法人みまき福祉会 副施設長 荒井 昭成 氏

県内社協公益事業「あんしん創造ネット」

社会福祉法人諏訪市社会福祉協議会 事務局長 櫻井 幸雄 氏

伊那市社会福祉法人連絡会の取り組み

社会福祉法人しなのさわやか福祉会 常務理事 西村 太一 氏

・パネルディスカッション

「社会福祉法人の連携の力で、地域共生社会を拓く」

コーディネーター 大阪府立大学 地域保健学域教育福祉学類

教授 関川 芳孝 氏

パネラー 社会福祉法人大洋社 常務理事 斎藤 弘美氏

社会福祉法人総社市社会福祉協議会 地域福祉係長 剣持 美典氏

(2) 職員研修

① テーマについて語ろう！ 13人出席

・期 日 平成30年7月30日(月)

・研修内容 「こんなサロンあってもいいじゃん！おらほのサロン大作戦」

② 接遇研修 28人出席

・期 日 平成30年11月19日(月)

・研修内容 「接遇研修～応対、接客マナーのスキルアップを目指して」

③ 外部研修

社協職員基礎研修会、会計実務中級講座、経理研修会、安全運転管理者研修会

苦情対応実践講座、苦情対応システム研修会、ギャンブル等依存症対策研修会

日常生活自立支援事業生活支援員研修会、生活福祉資金担当者研修会

信州パーソナルサポート事業支援員研修会、心配ごと相談所等相談員研修会

精神保健福祉研修会、精神障がい者就労支援研修、成年後見制度活用講座

信州子どもカフェ推進上田地区プラットフォーム 人材育成研修会、

再犯防止推進ネットワーク事業協議会・研修会

災害ボランティアセンター運営研修会、地域共生社会推進長野フォーラム、

地域福祉コーディネーター養成研修、結婚支援担当者レベルアップ研修、

学社連携意見交換会、ボランティアコーディネーター研修会

障がい者スポーツ指導員研修会、上小地域医療・介護連携推進研究会

子ども家庭支援ソーシャルワーク研修

④ 上小ブロック役職員研修

・期 日 平成31年3月5日(火) 7人出席

・場 所 上田市ふれあい福祉センター

・内 容 研修及び情報交換会等

⑤ 関東ブロック職員合同研究協議会

- ・期 日 平成 30 年 7 月 12 日 (木) ～13 日 (金) 1 人出席
- ・場 所 山梨県 甲府ホテル
- ・内 容
 - 基調講演 『地域を元気にする秘訣～鹿児島県鹿屋市串良町柳谷地区(やねだん)の取り組みから学ぶ～』講師：豊重 哲郎 氏 (柳谷地区自治会公民館・館長)
 - 7つの分科会で研究協議
 - 記念講演 「夢を育て、自立を促す子育て」
講 師：平野卓球センター・平野卓研チーム監督 平野 真理子 氏

(3) 実習生の受入

- | | | | |
|-----------|--------------|-----|----------------------------------|
| 相談援助実習 | 長野大学 3 年 | 2 人 | (夏季 8 月 9 日～9 月 8 日) |
| | | 2 人 | (春季 H31. 2 月 14 日～2 月 25 日) |
| | 長野大学 2 年 | 2 人 | (春季 H31. 2 月 15 日～2 月 25 日) |
| 訪問介護実習 | 上田福祉敬愛学園 2 年 | 2 人 | (H30. 9 月 19 日～9 月 28 日のうち 2 日間) |
| | 佐久大学 | 2 人 | (H30. 2 月 25 日～3 月 8 日のうち 2 日間) |
| | | 2 人 | (H30. 8 月 1 日～8 月 7 日のうち 2 日間) |
| 介護支援専門員実習 | | 1 人 | (H31. 2 月 6 日から 21 日 20 時間) |

(4) 職員の講師等の派遣

- 平成 30 年度長野大学相談援助実習報告会 1 人
 - ・期 日 平成 30 年 7 月 14 日 (土)
 - ・対象者 長野大学生 50 人
- 平成 30 年度長野大学相談援助実習指導 I 1 人
 - ・期 日 平成 30 年 10 月 25 日 (木)
 - ・対象者 長野大学生 20 人
- 第 19 回日本認知症ケア学会 シンポジスト 1 人
 - ・期 日 平成 30 年 6 月 16 日 (土)
 - ・対象者 会員・非会員 200 人
- 平成 30 年度多職種連携研修 (石川県小松市) 1 人
 - ・期 日 平成 30 年 10 月 31 日 (水)
 - ・対象者 小松市における公益的な取組検討会参加法人、石川県内市町社協 20 人
- 平成 30 年度民生委員児童委員研修 (2 期目以上) 1 人
 - ・期 日 平成 30 年 11 月 6 日 (火)、11 月 8 日 (木)
 - ・対象者 東北信地区の 2 期目以上の民生委員児童委員
- 長野大学 社会福祉学部 「相談援助の基盤と専門職Ⅱ」 1 人
 - ・期 日 平成 30 年 12 月 11 日 (水)
 - ・対象者 相談援助の基盤と専門職Ⅱ 履修生 170 人
- 小諸市社会福祉協議会 発展強化計画学習会 1 人
 - ・期 日 平成 31 年 3 月 8 日 (金)
 - ・対象者 小諸市社会福祉協議会職員 30 人
- 長野県社会福祉審議会地域福祉計画専門分科会委員 1 人

4. 苦情対応

(1) 苦情受付状況 期間 平成30年4月1日～平成31年3月31日

区分	件数	内容
訪問介護事業	1	利用者のケアの内容に対する苦情
その他	1	社協の会員制度について

(2) 苦情対応実践講座 平成30年6月5日(火) 3人出席

(3) 苦情対応システム研修会 平成30年11月5日(月) 4人出席

5. 連絡調整事業

(1) 福祉関係団体との連絡会議

- ・期日 平成30年4月25日(水) 福祉団体長会議
- ・期日 平成30年9月14日(金) 障がい者福祉のつどい実行委員会
- ・期日 平成30年12月8日(金) 同 反省会

(2) 民生児童委員協議会との協働

- ・地域福祉事業の周知・啓発・事業に関する協力
- ・福祉活動に対する助成金の交付
- ・理事会・地区民協定例会・全体会への出席

(3) 社協法人会員の皆様へ社協事業に対する情報提供

(4) 社会福祉充実計画(困りごと相談)実績額 2,655,056円

II 総合相談、支援事業の推進

1. 生活困窮者自立支援事業

(1) 自立相談支援事業

東御市生活就労支援センター「まいさぼ東御」は、生活困窮者自立支援法に基づき、生活に困窮されている、または恐れのある方の総合的な相談窓口を東御市から受託し運営した。幅広い年齢層の相談があり、経済的困窮のほか、社会的孤立（ひきこもりや長期離職者等）や複雑な課題を抱えた世帯全体の相談を包括的に受け、地域づくりに取り組みながら、就労や生活改善につながった。なお、平成 29 年度実績（平成 30 年 8 月公表）によれば、全国の自立相談支援機関中、新規相談件数・プラン作成件数・就労支援対象者数等の実績により、優良自治体 38 位になる。

<相談件数> *相談員：3人

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
新規相談件数	111 件	76 件	95 件	84
継続支援件数	260 件	439 件	延 430 件	延 639 件
プラン作成件数	35 件	39 件	45 件	49 件
相談対応件数	延 1,573 回	延 2,500 回	延 2,791 回	延 3,202 回

<新規相談件数の性別・年齢構成>

年度	20 歳未満	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60～64 歳	65 歳以上	不明	合計
H30	4	13	11	19	15	8	10	4	84

<法に基づく事業の利用> 平成 30 年度

制 度	件 数	利用後の経過
住居確保給付金	2 件	食糧、就労、家計相談、子どもの学習
就労準備支援事業	2 件	職場見学、プチバイト
認定就労訓練事業	2 件	就労、認定就労訓練継続
自立相談支援事業による就労支援	45 件	職場見学、就労、プチバイト、認定就労訓練等
生活福祉資金等による貸付	5 件	食糧支援、就労、生活保護
生活保護受給者等就労自立促進事業	6 件	就労

<プラン作成者の支援前と支援後の状況> 平成 30 年度

順位	支援前	支援後
1	経済的困窮	精神の安定
2	家族関係・家族の問題	自立意欲の向上・改善
3	病気	就労開始（一般就労）

4	メンタルヘルスの課題	社会参加機会の増加
5	家計管理の課題	対人関係・家族関係の改善

<就労に関する実績（法に基づく事業以外）> 平成30年度

就労支援対象者数	就労者数	プチバイト事業 (就職活動応援金付職場体験事業)	職場見学	協力事業所開拓
36	28	11件	4件	12件

(2) 家計相談支援事業

家計状況を家計表やキャッシュフロー表に整理し、相談者の家計管理の意欲を引き出す相談支援をした。また必要に応じ、債務整理や貸付のあっせんなどを行った。

<利用件数と利用による改善状況>

○利用件数（プラン作成件数） 9件

○利用による改善の状況（利用件数9件のうち、改善状況を、1件につき複数カウント）

内容	件数	内容	件数
自身の家計の現状把握	7	将来の収支変化の見通し	6
家計管理の重要性の認識	4	自立意欲の向上・改善	3
支出費目の優先順位位置付け	4	生活習慣改善	6
家計の範囲内での支出	3	対人関係・家族関係の改善	2

(3) 子どもの学習支援事業

基礎学力向上や、生活習慣や家庭文化を学び、支援員との交流により、子どもの孤立を防いだ。支援により高校進学等が実現した。

<利用件数>

利用者数	実施日数	実施時間	支援員数
5名	119日	227時間	6名

<結果・改善状況>

支援結果・経過	件数
高校卒業、孤立防止	1
高校合格、生活習慣の取得、孤立防止	2
高校単位取得、孤立防止	1
生活習慣の取得、孤立防止	1

(4) 会議・研修等

支援調整会議 12回 研修・支援員連絡会議 10回 全県・広域会議 6回

(5) 周知活動

市内団体が主催する学習会・講演会等にて事業説明 5回

2. 日常生活自立支援事業

高齢者や障がいのある判断能力が不十分な方々が、東御市で安心して自立した生活が送れるように、福祉サービスの利用などに関わる相談などの援助をした。

専門員 : 7人 生活支援員 : 5人

(1) 相談件数 延 3,485 件 (新規・既契約含む)

専門員訪問調査回数	利用援助回数	ケース検討会議	書類等預かり件数
延 310 回	延 879 回	延 52 回	31人 129件

(2) 実利用者数 35人

	認知症	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
新規	0	1	0	1	2
解約	0	5	2	1	8
総件数	7	13	9	6	35

*新規契約件数 2件、解約件数 8件 (うち成年後見制度移行件数 2件)

(3) 専門員・支援員利用援助回数 延 879回

(4) 金銭管理、財産保全サービス事業 (市社協扱い) 契約件数 1件

3. 生活困難・困窮者への支援

(1) 生活支援の貸付相談件数 延 98件

(2) 生活資金貸付総件数 (市社協扱い)

◆生活資金 (助け合い資金) 23件 409,300円

(3) 生活福祉資金貸付総件数 (県社協扱い)

◆福祉資金 1件 193,000円

◆総合支援資金 1件 276,170円

(4) 緊急食料支援件数

○食料寄贈受入

寄贈者	寄贈受入件数	寄贈個数	寄贈米 (kg)
個人・・・7人	7	3	130
団体・・・2団体	延べ14	832	20
企業・・・1社	1	183	0

(※アルファール米、缶詰、レトルト食品、味噌汁、カップ麺等)

○食料支援

支援者	支援世帯数	延支援回数
東御市社会福祉協議会独自支援	33	57
フードバンク信州（ななせ仲まち園）	16	61

- (5) 生活福祉資金等貸付相談嘱託員の設置 相談員 5人
- ・滞納世帯への訪問 85回
 - ・償還延回数 15件
 - ・償還額 19,000円

4. 結婚相談事業

- (1) 相談状況 相談員 5人
- ・相談日 毎週日曜日 午前9時～正午
 - ・相相談場所 中央公民館 学習室

開催日数	相談件数	相談登録者数	お見合い件数	結婚成立件数
47日	延 120件	225人 (男166人女59人)	14件	5件

- (2) 東御市結婚活動支援実行委員会
- ・結婚相談員と社協事務局が実行委員として参加
 - ・講演会及びイベントの協力（随時）
- (3) 三市町村結婚相談員連絡会事業（東御市、長和町、青木村）
- ① 三市町村との結婚相談員連絡会及び情報交換会
 - ・年間（毎月開催）12回 参加人数 延50人
 - ② 出合いのイベント
 - 三市町村合同婚活イベント
 - ・期 日 平成30年7月8日（日）
 - ・会 場 MIMAKI（東御市・平安閣みまき）
 - ・参加者 男性20人、女性20人（計40人）
 - ・内 容 ティータイム、トークタイム、ミニゲーム、食事
 - ・マッチング 4組

5. 総合相談体制整備事業

長野県社協の『地域を基盤としたソーシャルワーク機能強化に向けた「総合相談体制整備事業」』の指定を受け、生活困窮者支援の個別相談の課題改善を目指し、社会資源開発や地域づくりに取り組んだ。

- (1) 協力事業所登録

職場見学・就労体験・プチバイト・認定就労訓練について協力する事業所を募り、登録票を提出の上、パンフレットにした。

○協力企業数…12か所

製造	製造 (食品)	農業	運送	福祉	医療	警備	サービス	その他
2	1	3	1	3	1	1	0	0

○協力内容

見学	就労体験	プチバイト	認定就労訓練
12	11	12	6

(2) 仕事・生活サポーター事業

生活困窮者やその子どもに、伴走型でオーダーメイドの支援をするために支援員登録を行う。市民や学生が相談者と人間関係を築き、生活課題の改善に向けて活動をした。

○実績数

利用者数	利用回数	サポーター数	支援 内容	子ども孤立防止	社会生活自立
5人	63回	5人		1	4

(3) 子どもだれでも居場所づくり

生活困窮者ほか、福祉課や教育委員会に呼びかけ、安心して居られる場所を事欠いている世帯やその子どもに呼びかけ、居場所づくりに取り組んだ。

○実績数

実施日	全参加 人数	職員	大人	大学生	高校生	中学生	小学生	未就学
12/22	29	4	12	6	0	2	3	2
1/26	36	4	14	4	0	1	7	6
2/23	38	4	18	4	1	1	4	6
3/30	38	3	18	5	1	2	5	4
合計	141	15	62	19	2	6	19	18

(4) あんしん未来創造フォーラムの開催

- ・期 日 平成31年3月21日(木・祝)
- ・場 所 東御市総合福祉センター3階 講堂
- ・来場者 71人
- ・内 容

◆講演

『「人」ありき。“ぶれず”にやり抜き30年。家族のような300人の仲間。
～コーケンが凄いい。何が?! 社員が凄いい。～そんな会社をつくりたい。』

講師 コーケン工業株式会社 代表取締役会長 村松 久範 氏

◆東御市の大切にしたい企業等の取り組み紹介

『みんながいきいきと働けることを考える』

登壇者

- ・株式会社相和 専務 関 俊樹 氏
- ・ヤマト運輸株式会社 元東御支店長 荻原 達矢 氏
- ・丸山農園 代表 丸山 貴弘 氏
- ・社会福祉法人ちいさがた福祉会 フォーレスト施設管理者 岩佐 淳 氏
- ・社会福祉法人 みまき福祉会
在宅総合支援センター「みまきの家」センター長 西澤 唯治 氏

助言者

コーケン工業株式会社 代表取締役会長 村松 久範 氏

Ⅲ 地域福祉活動

【 地域ささえあい活動の支援・推進 】

1. おらほの地域福祉づくり事業

<継続支部>

10支部

300,000円

支部	取り組み状況	取り組みメニュー
片羽	2年目	いきいきサロンの活性化
西宮	2年目	いきいきサロンの活性化
伊勢原	2年目	地域の見守り活動
海善寺	2年目	災害時支えあい台帳づくり
上八重原	2年目	いきいきサロンの活性化
南部	2年目	災害時支えあい台帳づくり
田楽平	2年目	いきいきサロンの活性化
大石	3年目	災害時支えあい台帳づくり
新屋	3年目	災害時支えあい台帳づくり
金井	3年目	災害時支えあい台帳づくり

<新規支部>

5支部

150,000円

支部	取り組み状況	取り組みメニュー
加沢	新規	支えあいマップづくり
城ノ前	新規	助け合い・支え合いの仲間づくり
海善寺北	新規	支えあいマップづくり
寺坂	新規	いきいきサロンの活性化
島川原	新規	災害時支えあい台帳づくり

2. 支部福祉活動の支援

(1) 支部福祉活動助成金の交付 67支部 2,023,000円

(2) 地区別地域福祉懇談会 20,480円

・総参加者数 261人

・内容 社協の事業説明、福祉運営委員の活動説明、支部ごとの懇談等

地区	開催日	場 所	人数
田中	平成31年2月20日(水)	中央公民館	54人
滋野	平成31年2月18日(金)	滋野コミュニティーセンター	59人
柵津	平成31年2月25日(月)	総合福祉センター	41人
和	平成31年2月22日(金)	和コミュニティーセンター	54人
北御牧	平成31年2月15日(水)	北御牧公民館	53人

(3) いきいきサロン等助成事業 1,471,780円

・実施支部 47支部 ・総参加者 9,321人

事業	会食会	茶会	世代間交流	ふれあい訪問
回数	206回	171回	3回	19回
参加者数	6,206人	3,071人	44人	

(4) 地域活動援助講座

○ いきいきサロンのための料理講習会 2回

- ・対象者 各区福祉運営委員
- ・講師 東御市食生活改善推進協議会会員

期日	テーマ	参加者
6月15日(金)	いきいきサロンのためのおやつ作り	27人
8月2日(木)	いきいきサロンのためのおやつ作り	21人

(5) 地域の絆づくり支援事業

- ・レクリエーション用品の貸し出し
(ハンドベル、お手玉、輪投げ等ゲーム用具等) 164件
- ・支部福祉活動の相談会 15回

(6) 地域への出前講座 65回

講座	回数	講座	回数
介護予防体操(レクリエーション)	37回	エンディングノート	6回
認知症講座	5回	レクリエーション等補助	8回
介護保険の上手な使い方	1回	ようこそ!社協	1回
ボッチャ体験	6回	その他	1回

(7) 福祉運営委員長研修会

- ・期日 平成30年5月26日(土)
- ・参加者 福祉運営委員長 43人(65人中)
- ・研修内容 (1) 地域発!おらほのサロン活動紹介(事例紹介)
 - 本海野区いきいきサロン(報告者:原田京子氏)
 - 海善寺北区なかよしカフェ(報告者:大谷美知子氏)
- (2) 地域福祉活動の推進について

3. 福祉のまちづくり講座「とうみ男の遊び塾」

◆延べ参加者 39人 ◆参加申込者数 15人

回数	開催日時	開催内容	開催場所	参加人数
1	9月19日(水)	男の葡萄酒塾	山梨県	10人
2	11月21日(水)	男の燻製食塾	総合福祉センター	12人
3	H31年1月16日(水)	男の切り絵塾	総合福祉センター	10人

4	H31年3月20日(水)	男の料理塾	総合福祉センター	7人
---	--------------	-------	----------	----

4. 介護講座「あった介護教室」

- ・テーマ “介護技術を学ぼう”
- ・期 日 平成31年3月1日(金)
- ・会 場 東御市総合福祉センター2階 高齢者センター大広間
- ・参加者 介護者及び介護に興味・関心のある者9名

5. 福祉自動車貸し出しサービス事業

- ・登録者 利用者数 58人
- ・利用延回数 128回

6. 福祉用具貸与事業

338,660円

貸出物品	備品台数	利用件数
介護用ベッド	63	77
車椅子	90	150
マットレス・エアマット	63	77
ポータブルトイレ	39	50
その他(歩行器等)	22	14
合 計	277	368
※車いすの利用件数の内、59件は短期間の貸出件数		

【 共同募金配分事業 】

1. 高齢者への活動

(1) ひとり暮らし高齢者の福祉サービス

○ふれあい会食会 414,465円

- ・期 日 平成30年6月27日(水)
- ・場 所 上山田温泉 圓山荘
- ・参加者 一人暮らし高齢者 68人参加

○おせち料理 224,929円

- ・期 日 平成30年12月29日(金)、30日(土)
- ・調理ボランティア 女性民生児童委員 延 55人
- ・訪 問 担当民生児童委員 延 59人
- ・対象者

一人暮らし高齢者	高齢者世帯	父子家庭	障がい者世帯	合 計
105人	12世帯	2世帯	6世帯	125世帯

(2) 敬老祝賀事業

○金婚祝賀 祝品(慶祝上の額)の贈呈 49,200円

- ・金婚祝賀式典 平成30年9月20日(木)

- ・該当者 40組
- ・会場 中央公民館 講堂
- 敬老祝賀 祝品の贈呈 645,000円
- ・対象者 合計 207人（米寿祝195人・白寿祝12人）
- ・祝賀訪問51人 平成30年9月26日～27日

2. 障がい者への活動

(1) 障がい者福祉のつどい 226,804円

- ・期日 平成30年11月24日（土）
- ・会場 中央公民館 講堂
- ・参加者 福祉団体等から 235人
- ・内容
 - ◆アトラクション 「音楽を楽しもう」
東御市出身 トランペット奏者 蓬田 奈津美 氏
 - ◆活動発表 「ユニバーサルな社会参加を目指して」
発表団体 ダンスグループからふる
バリアフリー合唱団コールレインボー
「みんなで一緒に」
参加者で合唱
 - ◆福祉団体交流会

(2) 障がい者社会参加支援事業助成 150,000円

- ① 笹川スポーツ財団「チャレンジデー in 東御」における「ボッチャ」の実施
 - 開催日 平成30年5月30日（水）
 - 場所 中央公民館・ケアポートみまき
 - 対象 市民 参加人数：197人
 - 内容 ボッチャのコートを常設
- ② 長野車椅子マラソンアスリート講演会の開催
 - 開催日 平成30年6月16日（土）
 - 場所 第一体育館・中央公園
 - 対象 市民 参加人数：40人
 - 内容 講演会・競技用車いすの体験
- ③ パラスポーツフェスタ in 軽井沢の開催支援
 - 開催日 平成30年6月17日（日）
 - 場所 軽井沢風越公園体育館
 - 対象 参加人数：123人
 - 内容 ボッチャ体験ブースを担当
- ④ 信州チャレンジスポーツ DAY ユニバーサルリレー事前講習会
 - 開催日 平成30年9月15日（土）
 - 場所 湯の丸高原スポーツ交流施設
 - 対象 参加人数：73人
 - 内容 リレーの講習会
- ⑤ 信州チャレンジスポーツ DAY ユニバーサルリレー
 - 開催日 平成30年10月13日（土）

- 場 所 松本平広域公園
 対 象 東御市から2チーム 参加人数：16人
 内 容 800メートルユニバーサルリレーに参加(7位・5位)
- ⑥ サンスポルト松本第10回記念ボッチャ交流大会
 開 催 日 平成30年10月8日(月・祝)
 場 所 松本市南部体育館
 対 象 東御市から13チーム 参加人数：39人
 内 容 ボッチャ競技会(3位・4位)
- ⑦ 東御市総合体育大会 ユニバーサルスポーツ部門
 開 催 日 平成30年10月20日(土)
 場 所 東御市ふれあい体育館
 対 象 東御市から16チーム 参加人数：70人
 内 容 ボッチャ競技会
- ⑧ 日本財団「あすチャレスクール」の開催支援
 開 催 日 平成30年11月16日(金)
 場 所 田中小学校体育館
 対 象 田中小4学年 参加人数：80人
 内 容 車いすバスケットボールの体験
- ⑨ 信州っ子スポーツ体験教室の開催支援
 開 催 日 平成31年2月11日(月・祝)
 場 所 上田城址公園体育館
 対 象 上小地域の小学生1年～3年 参加人数：70人
 内 容 ボッチャ体験ブースを担当
- ⑩ 第1回長野県民パラスポーツ大会の開催支援
 開 催 日 平成31年3月23日(土)
 場 所 松本市信毎メディアガーデン
 対 象 県内30チーム 参加人数：150人
 内 容 ボッチャ競技会
- ⑪ ユニバーサルスポーツの場づくりへの支援
- 1) 「わくわくスポーツクラブ」への支援
 開催形態 平成30年5月～平成31年1月 全8回
 毎月第3土曜日、いずれも10：00～12：00
 場 所 東御市第2体育館・福祉センター
 対 象 クラブ登録者75人 延参加人数：400人
 内 容 『ボッチャ』を中心とした活動。
- 2) とうみボッチャ交流大会開催支援
 開 催 日 平成31年2月16日(土)
 場 所 北御牧中体育館
 対 象 わくわくスポーツクラブ登録者、他 参加人数：18チーム 58人
 内 容 ボッチャ交流大会
- 3) 障がい者のスポーツ参加のきっかけづくり支援
- 上小地区福祉施設連絡協議会 ボッチャ審判講習会・レク大会開催支援
 - 北御牧地区冬季スポーツ大会 ボッチャ競技支援
 - 長野県障がい者スポーツ指導者協議会 ユニバーサルスポーツ体験会支援
 - 市内福祉・介護施設、教育機関、地区公民館等との連携

3. ボランティア活動

(1) ボランティア連絡協議会・ボランティア団体活動補助金(31 団体)の交付 545,000 円

(2) 男性の料理サロン「楽ちん・しあわせごはん」 4 回 75,121 円

期 日	テーマ	参加者
平成 30 年 8 月 18 日 (土)	油淋鶏 他	12 人
10 月 13 日 (土)	魚と野菜のホイル焼き 他	10 人
12 月 8 日 (土)	手打ちそば 他	14 人
平成 31 年 2 月 9 日 (土)	パエリア 他	12 人

4. 児童への活動

(1) ひとり親家庭交流支援事業 579,483 円

- ・期 日 平成 30 年 12 月 1 日 (土)
- ・場 所 東京ディズニーシー
- ・参加者 25 世帯 (大人 25 人・子供 31 人)

(2) 福祉協力校の指定、活動助成 (8 校) 400,000 円

5. 社会福祉の啓発

(1) 社協報「ほほえみ」(ボランティア情報「かわら版」含)の発行 2,410,688 円

- ・発行回数 年 6 回 奇数月の 16 日発行
- ・発行部数 10,800 部
- ・編集委員 3 人

(2) 啓発パンフレットの作成、配布 172,800 円

- ・「社協のしおり」600 冊

(3) ホームページでの情報発信

[アドレス URL <http://www.tomisyakyo.or.jp>]

(4) 介護の日「福祉講演会」の開催 47,169 円

- ・期 日 平成 30 年 11 月 10 日 (土)
- ・場 所 東御市総合福祉センター 3 階 講堂
- ・来場者 92 人
- ・内 容 ◆講演「終の棲家を考える」
講師 長野大学 学長 中村英三 氏

(5) 「第 6 回東御市社会福祉大会」の開催

- ・期 日 平成 30 年 8 月 11 日 (土)
- ・場 所 東御市中央公民館 3 階 講堂
- ・来場者 190 人

・内 容

- ◆式 典 表彰・感謝状の贈呈
 - 地域福祉功勞 5 名
 - ボランティア功勞 4 団体
 - 高額寄附団体 3 団体

◆シンポジウム

テーマ「おらほの街で発見！地域の福祉力」
～これからの地域づくりを考える～

コーディネーター

長野大学 准教授 合田 盛人 氏

パネリスト

身体教育医学研究所 指導員 谷 貴人 氏

民生児童委員 和地区副会長 大谷 美知子 氏

福祉運営委員 島川原区委員長 渡辺 正喜 氏

ボランティア とうみのだいどころ 代表 五十嵐江利子 氏

6. 多世代サロン

(1) 多世代交流サロン “おいでよサンサン” 77,635 円

- ・開催回数 合計 12 回 (H30.4～H31.3 各月 1 回)
- ・参加者数 延 106 人 (子ども 2 人含)
男: 6 人 女: 92 人 (// 2 人含)
- ・内 容 子供から大人まで多世代にわたり交流する拠点づくりと、高齢者の生きがいづくり、世代間の知恵の継承や情報伝達の場づくり

IV 福祉教育、ボランティア活動の推進

1. 福祉教育の推進

<活動内容>

学校名	内 容
田中小	特別支援学級との交流会、人権同和教育、童謡唱歌「くるみの会」との交流会、赤い羽根共同募金、福祉体験学習、福祉施設入所者との交流、田中保育園児との交流など
滋野小	地域のお年寄りとの交流、福祉講演会、福祉体験学習、滋野保育園児との交流、エコキャップ収集、書き損じ葉書収集、デイサービスともがきの利用者との交流など
祢津小	風刺体験学習、四季の森での交流、ハーモニック東部との交流、祢津保育園との交流、ネットタイムで地域の方と交流、特別支援学級との交流、福祉体験学習など
和 小	和保育園との交流、福祉体験学習、福祉講演会、服のカプロジェクト、赤い羽根共同募金、ユニセフ募金、エコキャップ・アルミ缶集め、書き損じ葉書収集など
北御牧小	ケアポートみまき利用者との交流、北御牧保育園との交流、環境美化活動(ゴミ拾い)、福祉体験学習、パラリンピックメダリストとの車いすバスケットボール体験など
東部中	道の駅「雷電くるみの里」清掃活動、サマーチャレンジボランティア、ケアポート祭りボランティア、福祉の森ふれあいフェスティバルボランティア、赤い羽根共同募金使用済み切手収集など
北御牧中	通学路のゴミ拾い、ケアポートみまき利用者との交流、職場見学、人権教育講演会、敬老会参加、火のアートフェスティバル参加、アルミ缶・書き損じ葉書・牛乳パック等の収集など
東御清翔高	全校クリーン作戦、子どもフェスティバル、福祉の職場体験学習、福祉の森ふれあいフェスティバル、人権平和学習、信州総文祭ボランティア部門など

<福祉体験学習>

学校名	実施回数	講師	ボランティア	延人数	内 容
田中小	6回	11名	17名	380名	ボッチャ体験、手話体験、点字体験、車いす体験、車いすツインバスケット体験、あすチャレスクール
滋野小	5回	6名	15名	88名	対話型鑑賞体験(アイマスク体験)、車いす体験、手話体験、点字体験、福祉講演会
祢津小	4回	7名	8名	190名	防災体験、手話体験、点字体験、車いすツインバスケット体験
和 小	1回	1名	1名	20名	手話体験
北御牧小	6回	9名	18名	108名	車いすツインバスケット体験、高齢者疑似体験、対話型鑑賞体験(アイマスク体験)、手話体験、点字体験、車いす体験
東部中	1回	2名	2名	10名	手話体験

2. ボランティア活動の推進

(1) ボランティアに関する登録・相談・情報提供・調整の状況

- ・ボランティア団体登録数 82 団体
- ・ボランティアバンク登録者数 61 人 延 5,372 人
- ・相談者数 3,288 人

(来所 1,256 人・電話 959 人・メール 347 人・訪問 173 人・その他 553 人)

- ・相談件数 ボランティア依頼・受付・相談等 延 6,011 件
- ・ボランティア相談・依頼件数 音訳・点訳・施設ボラ、出前講座等 延 1,427 件

- (2) ボランティア活動保険の補助 合計 719 人 133,860 円
加入者数 Aプラン 14 人
Bプラン 705 人 (天災Bプラン 5 人含) (社協負担 210 円)

(3) ボランティア連絡協議会の活動支援

① 自然を楽しむ会 (障がい者とボランティアの交流会)

- ・期 日 平成 30 年 6 月 6 日 (水)
- ・場 所 湯の丸高原ホテル及び周辺施設
- ・参加者 13 団体 85 人参加

② ボランティアセンター研修会

- ・期 日 平成 31 年 2 月 12 日 (火)
- ・場 所 新海三社神社、御代田町社会福祉協議会
- ・参加者 14 団体 39 人参加
- ・内 容 ①新海三社神社 散策

②佐久平プラザ 2 1 昼食

③御代田町社会福祉協議会にて交流

- ・御代田町ボランティア地域活動連絡協議会との交流
- ・グループ発表

(食生活改善推進協議会、音楽を楽しむ会スキップ、
とうみのだいどころ)

(4) 上小ブロックボランティアフォーラム

- ・ボランティア全国フォーラムを兼ねる

(5) 信州発ボランティア・市民活動フォーラム

- ・ボランティア全国フォーラムを兼ねる

(6) ボランティア全国フォーラム軽井沢 2018

- ・期 日 平成 30 年 11 月 3 日 (土) ~4 日 (日)
- ・場 所 軽井沢大賀ホール 他
- ・参加者 8 名

3. ボランティアの養成、研修

(1) 夏のボランティア体験教室 (サマーチャレンジボランティア)

- ・期 日 平成 30 年 8 月 10 日 (金)
- ・場 所 道の駅「あおき」(青木村)
- ・内 容 障がい者との交流体験 (おやき作り体験)

- ・参加者 26人
(体験者12人・協力者6人・ボランティア2名・実習生4名・社協職員2人)
- (2) 手話ボランティアスキルアップ講習会 4回
- ・期 日 平成30年9月29日、10月13日の午前・午後各1回
 - ・内 容 ①初心者コース2回 ②充実コース2回
 - ・参加者 延 26人
 - 講 師 長野県聴覚障害者協会登録講師 矢野 吉江 氏
本木 理恵 氏
- (3) 音訳ボランティア養成セミナー 3回
- ・期 日 平成31年1月29日、2月7日、2月13日
 - ・会 場 総合福祉センター ボランティアルーム2
 - ・参加者 延 28人(りらの会入会6人)
 - ・講 師 元SBCアナウンサー 大久保智恵子 氏、音訳利用者 両角雪弥 氏
りらの会会員、社協職員
- (4) 音訳スキルアップ講習会 4回
- ・期 日 平成30年9月25日、10月15日、11月9日、11月28日
 - ・参加者 延 28人
 - ・内 容 朗読技術向上
 - ・講 師 元SBCアナウンサー 大久保 知恵子 氏
- (5) 点訳ボランティア養成セミナー 5回
- ・期 日 平成30年7月4日、7月11日、7月18日、7月25日、8月1日
 - ・会 場 総合福祉センター ボランティアルーム
 - ・参加者 延 26人(くるみの会入会4人)
 - ・講 師 上田点字図書館 上原道夫 氏、点訳利用者 両角幾雄 氏
くるみの会会員、社協職員
- (6) 災害ボランティア養成講座 45,076円
- ・期 日 平成31年3月9日(土)
 - ・会 場 総合福祉センター 3階講堂
 - ・内 容 講演「災害ボランティアセンターの運営について」
演習「災害ボランティアセンター立ち上げ訓練」
 - ・参加者 71名
- (7) 福祉教育サポーター養成講座
- ・期 日 平成30年6月7日、6月12日、6月18日
 - ・会 場 総合福祉センター ボランティアルーム
 - ・参加者 延 19人
 - ・講 師 神谷まつ子 氏、上原玉江 氏(ガイドヘルパー)

両角雪弥 氏(視覚障がい者)
丸山邦子 氏(下肢障がい者)
森裕子 氏

(8) ボッチャサポーター養成講座

- ・期 日 平成31年1月12日、1月19日、2月16日
- ・会 場 総合福祉センター3階講堂、北御牧中学校体育館
- ・参加者 延 29人
- ・講 師 岡田佳澄 氏(身体教育医学研究所)

4. 福祉の森ふれあいフェスティバル

400,000円

- ・期 日 平成30年10月27日(土)
 - ・会 場 東御市総合福祉センター
 - ・参加者 参加総数1,500人(協力団体50団体 ボランティア300人)
 - ・内 容
 - ①福祉体験コーナーの設置(手話、点訳、車イス体験等)
 - ②障がい者施設の作品を展示・販売、喫茶コーナーの設置
 - ③ボランティア団体の活動発表(展示・体験・舞台)
 - ④ふれあいコンサート
 - ⑤福祉協力校(市内小中学校)で取り組む福祉体験学習の紹介
 - ⑥模擬店
- ※市民病院祭と同時開催

5. 福祉施設ボランティア担当者連絡会議

- ・期 日 平成30年5月17日(木)
- ・参加者 8人
- ・内 容 ボランティア受入の意見交換について

6. ボランティアセンター運営委員会の開催

- ・期 日 平成30年7月25日(水)
- ・参加者 13人
- ・内 容 ボランティアセンターの現況と今後の課題について

V 在宅福祉サービス・支援事業

1. 高齢者支援

(1) 介護予防事業の運営 (市受託) 6,558,359 円

介護予防事業	利用実人員	延利用者	実施日数	一日平均
ミニデイサービス (火) ~ (金)	43 人	1,449 人	187 日	7.7 人
筋トレ教室 (月)	8 人	220 人	41 回	5.4 人

(2) こんにちは訪問事業 (安否確認事業) (市受託) 16,848 円

- ・2 支部 利用者実人数 3 人
- ・訪問活動者実人数 13 人
- ・ヤクルト配布本数 312 本

(3) 寝具洗濯乾燥サービス事業 (市受託) 543,764 円

- ・実施回数 2 回 (6 月・11 月)
- ・利用実人数 69 人
- ・利用者数 延 98 人
- ・利用枚数 183 枚
- ・対象者 寝具の衛生管理が困難な者

(4) 在宅介護者リフレッシュ事業 (市受託) 165,821 円

- ・実施回数 3 回
- ・内 容 健康相談、介護技術講習、健康体操、介護者交流、元気回復等

実 施 日	場 所	参加者
平成 30 年 6 月 13 日 (水)	群馬県 八ツ場ダム工事現場など	8 人
平成 30 年 11 月 21 日 (水)	長野市 善光寺、宿坊	8 人
平成 31 年 3 月 11 日 (月)	東御市、上田市 高齢者介護施設見学	10 人

(5) 寝たきり高齢者希望の旅事業 239,994 円

- ・期 日 平成 30 年 5 月 30 日 (水)
- ・場 所 群馬県吉岡町「庵古堂 切り絵緑の美術館」
前橋市「赤城フーズ」
- ・内 容 バス旅行、交流会、福祉相談
- ・参加者 要介護者 8 人 家族介護者 4 人
介助ボランティア 7 人 社協職員 2 人 計 21 人

(6) 家族介護者サロン“太陽の会”交流会

- ・期 日 平成 30 年 5 月 16 日、9 月 19 日、平成 31 年 1 月 16 日
- ・会 場 高齢者センター 大広間
- ・参加者対象者 22 人 延 19 人

2. 障がい者支援

- (1) 重度障がい者希望の旅事業 904,859 円
- ・期 日 平成30年9月1日(土) - 9月2日(日)
 - ・場 所 新潟県長岡市「寺泊魚市場」 湯沢町「双葉ホテル(泊)」
上越市「上越市立水族博物館」
 - ・参加者 心身障がい者 9人 介護者 3人
ボランティア 9人 社協職員 2人 計 23人
- (2) 視覚障がい者への音訳、点訳サービス支援 442,037 円
- 利用者 7人
 - ・音訳・・・市報、市報お知らせ版、社協報、他
 - ・点訳・・・生涯学習カレンダー、選挙公報、社協報、他

VI 介護保険事業と障害福祉サービス

1. 訪問介護事業（ホームヘルプサービス）

(1) 訪問介護・介護予防日常生活支援総合事業（訪問型独自サービス）

要介護又は要支援の認定を受けた方を対象に、訪問介護計画を作成し、ホームヘルパーを派遣して身体介護及び生活援助等のサービスを提供した。

重度の利用者の入院・死亡や、自宅で介護保険のサービスを利用しながら生活される利用者も減る傾向にあり、利用者の減少につながった。

○ホームヘルパー数 9人

○利用総数 延 383件

<介護度別 延利用者数>

介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
30年度	25	53	82	102	41	39	41	383
割合	7	14	21	26	11	10	11	100
29年度	37	52	101	70	60	41	43	404

<月別利用者数 要介護1～5> 利用実人員 36人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
30年度	23	26	25	26	30	30	26	25	25	24	22	23	305
29年度	27	28	28	29	27	26	26	27	25	24	24	24	315

<月別利用者数 要支援1・2> 利用実人員 9人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
30年度	6	6	6	6	6	6	7	6	6	7	8	8	78
29年度	9	9	7	8	7	7	7	8	7	7	7	6	89

<サービス内訳>

サービス名	予防介護		身体介護		身体・生活		生活援助		総合計	
	回数	提供時間	回数	提供時間	回数	提供時間	回数	提供時間	回数	提供時間
30年度	311	224,5	2,889	1953,5	389	410	662	354	4,251	2,942
月平均	26	19	241	163	32	34	55	29,5	354	245
29年度	348	343	3,126	2,184	433	449	714	379	4,621	3,360

(2) 障がい福祉サービス事業（居宅介護・重度訪問介護・同行援護）

障害支援区分認定を受けた方のうち、介護給付費支給決定を受けた方を対象に、居宅介護等計画を作成し、ホームヘルパーを派遣して身体介護、家事援助及び外出時介助等のサービスを提供した。

介護保険事業と比較し障がい福祉サービスは、専門資格及び経験が必要であるため、研修の受講・資格取得等を今後どのようにしていくか検討が必要である。

	実利用者数	延利用者数	延利用回数	延提供時間数
30年度	14人	115人	1009回	1,254.75時間
29年度	10人	81人	828回	1,090.25時間
増減	+4人	+34人	+181回	+164.5時間

(3) 地域生活支援事業（移動支援事業）

障害支援度区分認定を受けた方のうち、社会活動等のための外出に係る支援が必要な方に対し、ホームヘルパーを派遣して外出に係る移動の支援等の必要なサービスを提供した。

	実利用者数	延利用者数	延利用回数	延提供時間数
30年度	7人	48人	386回	484.5時間
29年度	3人	26人	270回	274時間
増減	+4人	+22人	+116回	+210.5時間

(4) ほほえみサービス事業（自費サービス）

制度外のサービスを希望される方に対し、ホームヘルパーを派遣し希望されるサービスを提供した。独居・老世帯の方の入院中の洗濯サービス等、制度では対応できないニーズへの対応を図った。

	実人数	延利用回数	延利用者数	延提供時間	家事援助	通院介助	身体
30年度	4人	51回	15人	51.5時間	51時間	0回	1回
29年度	5人	33回	15人	35.5時間	33時間	0回	0回
増減	-1人	-18回	0人	-16時間	18時間	0回	+1回

(5) 内部研修

毎月1回、ヘルパー全員参加での研修を実施。サービスの質の向上や法令順守等の定期的な研修を企画・実施した。

認知症研修等必要とされる研修の他にも、日々の訪問業務の中での実技研修等、その時々々の状況に即した内容の研修となるように努めた。

<定例会議・研修実績>

月	研 修 内 容
4月	・観察と報告 情報の整理 ロールプレイ
5月	・観察と記録の書き方 演習 ・平成29年度 事業報告
6月	・食中毒と感染症 ワーク
7月	・接遇 ・移乗時の身体介護技術
8月	・認知症基礎研修 ・介護記録の書き方

9月	・介護記録から読み取れる情報研修 ワーク
10月	・実技研修 買い物支援
11月	・自立型支援 法令研修
12月	・実践研修 報告のタイミング
1月	・自己評価
2月	・障がい者の理解（精神疾患 特性について）
3月	・平成31年度の個別研修計画のついて

2. 居宅介護支援事業

市から介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援事業の一部を受託し、要支援認定を受けられた方も、要介護認定を受けられた方も各種のサービスなどを利用しながら自宅でその人らしい生活ができるよう、本人、家族等に寄り添い、ケアプラン（居宅サービス計画）を作成、各サービス事業所との連携調整を図り、継続的な利用者の心身状況・生活状況等、サービス利用状況等の確認を実施した。

また、広域連合からの介護認定調査の受託や、特定事業所加算Ⅱ算定事業所であるため、地域包括支援センターからの対応困難ケースの受け入れにも積極的に取り組み、毎朝のミーティングを行う等、ケースの情報の共有や定期的・計画的な研修の実施を行う等職員のスキルアップも図り体制の強化に努めた。今年度はケアマネ実習生1名を20時間受け入れた。

○ケアマネージャー人数 5人

○利用総数 延1,626件

<活動状況>

業務	介護	介護予防 介護予防ケアマ ネジメント	計
ケアプラン作成総件数（給付管理件数）	1,551件	75件	延 1,626件
モニタリング訪問件数	1,551件	30件	延 1,581件
要介護認定調査（広域連合から）	28件	0件	実績 28件
担当者会議開催件数	191件	5件	延 196件
アセスメント実施件数	191件	5件	延 196件
事例検討実施件数	23件	0件	延 23件
対応困難ケース受け入れ件数	9件	0件	延 9件

<月別居宅サービス計画（ケアプラン）作成件数>

		29年度実績	30年度実績	増減
延作成件数	介護	1,512件	1,551件	+39件
	介護予防	80件	75件	-5件
月平均	介護	126件	129件	+3件
	介護予防	6.6件	6.2件	-0.4件

<月別居宅サービス計画（ケアプラン）作成件数>

○要介護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
30年度	129	129	126	130	131	130	132	128	127	127	130	132	1,551
29年度	130	126	132	129	124	127	128	126	128	121	117	124	1,512

○要支援 介護予防支援・介護予防支援ケアマネジメント支援

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
30年度	7	6	6	8	7	7	7	6	5	6	6	4	75
29年度	5	6	6	9	7	7	8	8	8	8	8	7	87

<介護度別ケアプラン作成件数>

○要介護

介護度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
件数	537	461	317	135	101	1,551
月平均	44.7	38.4	26.4	11.2	8.4	129.2

○要支援

介護度	支援1	支援2	計
件数	21	54	75
月平均	1.75	4.5	6.25

<研修実績>

月	研 修 内 容
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・久堀医師との情報交換・事例検討会 ・ケアマネネット部会：諸連絡・情報共有等
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・久堀医師との情報交換・事例検討会 ・介護支援専門員実習事例・学術発表会 ・ケアマネネット部会：事例検討
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防ケアマネジメント新規事業研修会 ・介護支援専門員上小支部研修会 ・久堀医師との情報交換・事例検討会 ・ケアマネネット部会：事例検討
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・久堀医師との情報交換・事例検討会 ・ケアマネネット部会：事例検討
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・東御市地域ケア推進会議 ・久堀医師との情報交換・事例検討会 ・ケアマネネット部会：意見交換会・交流会（民生委員）

9月	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援型ケアプラン作成セミナー ・褥瘡を予防する ・多職種連携会議：私たちの考える地域包括ケア ・介護支援専門員更新研修・専門研修過程Ⅱ ・久堀医師との情報交換・事例検討 ・ケアマネネット部会：事例検討
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回上小地域医療・介護推進研究会 ・口腔ケアに対する自信をつける ・介護支援専門員更新研修・専門研修過程Ⅱ ・久堀医師との情報交換・事例検討会 ・ケアマネネット部会：事例検討
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者対策・高齢者虐待防止講演会 ・上小圏域第5回障害福祉計画の推進研修：高齢者分野と障害者分野の協働 ・東御市における介護予防の取り組み経過等の紹介について ・多職種連携会議：ちいさがた福社会 ・久堀医師との情報交換・事例検討会 ・ケアマネネット部会：事例検討 ・ケアプラン点検
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアポートみまき事業所報告会 ・認定調査員現認研修 ・久堀医師との情報交換・事例検討会 ・ケアマネネット部会：ケアプラン点検を終えて
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ターミナルケアと在宅介護について ・多職種連携会議：東御市社会福祉協議会 ・ケアマネネット部会：事例検討会
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回上小地域医療・介護連携推進研究会 ・上小圏域自立支援協議会・地域生活移行部会 事例学習会 ・上小圏域成年後見支援センター 成年後見制度セミナー ・キャラバンメイトスキルアップ研修 ・地域包括ケア研修 ・久堀医師との情報交換・事例検討会 ・ケアマネネット部会：事例検討
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携会議：ケアポートみまき ・久堀医師との情報交換・事例検討会 ・ケアマネネット部会：今年度の反省・次年度へ向けて

<その他の活動>

通常業務のほか、事業所の知名度の向上を図るための情報発信等にも取り組みました。

- ・東御市民間事業所連絡協議会への参加
- ・広報誌「ほほえみ」へのコラム掲載

Ⅶ その他の福祉活動支援

1. 共同募金支会事業

(1) 赤い羽根イベント・募金活動

○街頭募金の実施（ボランティア延べ68人が参加。職員は原則2名）

実施日 : 場所	
10月01日(月) 道の駅 雷電くるみの里	10月17日(水) デリシア 東部店
10月03日(水) やおふく 東御店	10月18日(木) 道の駅 雷電くるみの里
10月05日(金) デリシア 東部店	10月19日(金) やおふく 東御店
10月09日(火) 道の駅 雷電くるみの里	10月20日(土) ベイシア 東御店
10月10日(水) 湯楽里館	10月21日(日) 道の駅 雷電くるみの里
10月11日(木) ベイシア 東御店	10月24日(水) ベイシア 東御店
10月13日(土) -14日(日) 火のアートフェスティバル・赤い羽根ブース開設	10月30日(火) しなの鉄道 田中駅
10月15日(月) しなの鉄道 田中駅	10月31日(水) 道の駅 雷電くるみの里

○福祉の森ふれあいフェスティバルで風船サービス、募金活動

協力者 市内ボランティア、小学校5校、中学校2校、高等学校1校、専門学校1校

○戸別募金・・・行政区ごと支部長へ依頼

○学校での赤い羽根募金の取り組み 市内小中学校7校へ依頼

○職域募金の依頼 東御市役所職員、信州うえだ農協職員、東御市社協職員等

○東御市振興公社 温泉施設へ募金箱設置の依頼

○市内大手スーパー店頭へ募金箱設置の依頼

○市内企業へ企業募金の依頼

○自動販売機募金 道の駅「雷電くるみの里」、武道館、湯楽里館、総合福祉センター

(2) 赤い羽根、歳末助け合い共同募金収納結果

◎平成30年度赤い羽根募金収納総額

6,410,390円

<募金別内訳>

募金の種類	金額	内訳
戸別募金	5,928,293	6,448戸
街頭募金	93,343	市内8か所で実施
法人募金	98,000	18法人
学校募金	20,844	市内5校
職域募金	59,137	
イベント募金	47,751	
店頭、窓口募金、預金利子他	34,806	募金用通帳預金利子3円含
送金合計	6,282,174	

自動販売機募金	128,216	県共同募金会へ直接送金
収納総額	6,410,390	

(3) 共同募金会からの配分事業

平成30年度の市社協の地域福祉事業へ配分実績 4,680,116円

(平成29年度の収納額6,445,116円の実績から、東御市への配分金)

<事業別配分内訳>

事業	金額	事業	金額
高齢者への活動	1,028,000	その他	2,582,116
障害児・者	230,000	合計	4,680,116
児童・青少年	840,000		

(4) 災害見舞金

・住宅火災 2件 被災者4人 20,000円

2. 日本赤十字社事業

(1) 赤十字奉仕団総会及び活動資金募集会議

- ・期 日 平成30年4月25日(水)
- ・場 所 東御市総合福祉センター 講堂
- ・参加者 72人
- ・内 容 赤十字奉仕団総会 研修会 活動資金募集について

(2) 活動資金募集総額 支援者数 5,677人 4,010,700円

(3) 防災啓発研修会

- ・期 日 平成30年6月18日(月)
- ・場 所 東御市総合福祉センター 講堂
- ・参加者 71人
- ・内 容
 - ・災害時の赤十字活動について
 - ・防災・減災についてゲームをしながら楽しく学ぼう
- 講 師 日赤長野県支部 小柳由佳ボランティア係長

(4) 一日赤十字(炊き出し及び救急法講習会)

- ・期 日 平成30年7月23日(月)
- ・場 所 高齢者センター
- ・参加者 71人
- ・内 容 心肺蘇生法(AED講習) 非常食の作り方・試食
- ・講 師 東御消防署職員 救急救命士 2人
- 協力者 グリーンアルテミス 7人

※9月2日(日) 市の総合防災訓練で、各分団で非常食の炊き出し等行う

(5) 日赤奉仕団視察研修会

- ・期 日 平成30年11月27日(金)
- ・参加者 14人
- ・場 所 特定医療法人 新生病院

(6) イベント協力 赤十字活動

○子どもフェスティバルで非常食(ハイゼックス)おにぎり体験 365食

- ・期 日 平成30年5月12日(土)
- ・協力者 12人

○赤い羽根街頭募金への協力

- ・期 日 平成30年10月1日(月)
- ・協力者 34人
- ・期 日 平成30年10月13日(土)
- ・協力者 12人

○福祉の森ふれあいフェスティバルへの協力

非常食(ハイゼックス)おにぎり体験 362食

- ・期 日 平成30年10月27日(土)
- ・協力者 13人

○「障がい者福祉のつどい」の湯茶接待

- ・期 日 平成30年11月24日(土)
- ・協力者 2人

(7) 施設ボランティア活動体験 参加者34人

- ・期 日 平成30年11月26日(月)～12月1日(土)
- ・場 所 市内福祉施設 ケアポートみまき 11人、フォーレスト10人、
ハーモニック東部 12人

(8) 災害見舞

- ・住宅火災 2件 被災者 4人 毛布 4枚

3. 被災者義援金

(1) 東日本大震災 (平成30年4月1日～平成31年3月31日現在)

30年度	14件	206,012円
(23年からの累計)	1,124件	40,633,132円

(2) 平成28年熊本地震 (平成30年4月1日～平成31年3月31日現在)

30年度	4件	124,771円
(28年からの累計)	103件	4,896,949円

(3) 平成30年7月豪雨災害 (平成30年7月10日～平成31年3月31日現在)

30年度	14件	1,333,981円
------	-----	------------

- (4) 平成30年北海道胆振東部地震(平成30年9月11日～平成31年3月31日)
- | | | |
|------|----|---------|
| 30年度 | 1件 | 57,495円 |
|------|----|---------|

4. 社会福祉団体活動の支援

(1) 福祉団体交流会(ボッチャ)

- ・期日 平成30年6月4日(月)
- ・参加者 6団体
- ・参加者 88人

(2) 福祉団体活動補助金

1,440,000円

○身体障害者福祉協会	420,000円
○高齢者クラブ連合会	150,000円
○手をつなぐ育成会	120,000円
○遺族会	530,000円
○更生保護女性会	60,000円
○保護司会	160,000円
合計	1,440,000円